



インタビュー
書いたのは
私です

細野祐二

Hosono Yuji

ほその・ゆうじ／53年生まれ、会計評論家。早大卒業後、外資系大手会計事務所に所属。82年に公認会計士登録。04年、有価証券報告書虚偽記載の容疑で逮捕され、有罪確定後は研究及び執筆活動に従事。「公認会計士vs特捜検察」など著書多数

日本企業で横行する粉飾、そして、特捜検察の闇——伝説の会計士が斬り込む 監査と司法の「暗部」

——ライザップや武田薬品など、注目企業の会計に独自の視点から次々と疑問を呈し、その鋭い分析が話題を呼んでいる会計評論家の細野さん。本書では、日本の企業会計の問題事例が後を絶たない理由を、ご自身の経験を踏まえて論説しています。

04年3月、大手監査法人の会計士だった私は、害虫駆除会社・キャッツの株価操縦事件にからむ粉飾決算を指導したという身に覚えのない罪で、

要だと述べられています。

監査法人による監査が信頼できない以上、個人投資家が自らの身を守るにはそれしか手段はあり

東京地検特捜部によって逮捕、起訴されました。最高裁まで争ったものの、上告が棄却され有罪が確定し、公認会計士の資格も失いました。当時、私は50歳でしたが、あの瞬間、「自分の人生はもう終わった」と思いました。

しかし、いまでも「あの決算は粉飾ではない」という確信に変わりはありません。それでも判決を覆すことはできなかった。これは、検察をはじめとする日本の司法が、会

計の本質を理解していないことに原因があります。理解できないのは仕方ないことですが、聞く耳を持たないのは困ります。

だとすれば、なにが粉飾でなにが粉飾ではないのかを、正しく世の中に知ってもらうしか、私の主張の正当性を示す方法はない。そう考えたのが、粉飾決算の研究をはじめたきっかけでした。

——有罪確定後の執行猶予期間における苦闘と復活の物語は、本書の読みどころのひとつです。

東京拘置所での毎日は、本当に苦しいものでした。入所する前に尻の穴まで調べられて、独房の壁に向かって、ただただ呆然と過ごす日々。ある看守

から「お前は辛いだろうけど、外で待っている人はもっと辛いんだ」と声をかけられたときは、思わず涙が溢れました。

唯一よかったのは、他にやることがないので英語の勉強に没頭できたこと。単語を覚えまくったおかげで、出所してから英検1級を高得点で取得することができました。あれ以来、英語の勉強法を聞かれるたびに、「捕まるのが一番いいですよ」と答えています(笑)。

——カネボウ、オリンパス、東芝……。巨大企業による粉飾が明るみにでるたびに我々が抱くのは、監査法人がなぜ見抜けなかったのかという疑問です。監査法人は当該企業が

粉飾していることはもちろん判っています。でも、それを指摘することはほぼ不可能。なぜなら、監査法人は会社から莫大な監査報酬を受けとっているから。日経平均採用銘柄の上場企業なら、最低でも1億円以上です。それだけもらえば「適正」という意見以外の結論など出せるはずがありません。

私も、これだけ粉飾事件が続いたことで監査法人内部からの自浄作用を期待したこともありましたが、最近はそのもはや諦めています。

——本書では、日本も欧米のように、個人の投資家が開示情報をもとに企業の本当の業績を分析できる社会になることが必

倒す」と宣言しているわけでもない。みなさんが住宅ローンを借りて、銀行から3000万円が振り込まれたのと同じこと

犯罪から事件まで
1800円



私のいちばん

Questions & Answers

Q1 いちばん好きな映画は？

Answer いまは「アラビアのロレンス」

Q2 いちばん執筆に集中できる時間と場所は？

Answer 自宅で朝5時～10時

Q3 いちばん大切な時間は？

Answer 阪神タイガースの試合をテレビ観戦しているとき

Q4 いちばんの座右の銘は？

Answer 「復讐するは我にあり」

Q5 いちばん好きな本は？

Answer 『企業会計原則』。迷ったらここに戻る

Q6 いちばん会いたい人は？

Answer 亡くなった女房です

Q7 いちばん行きたい場所は？

Answer 事件の結果、いまだに入国できないフランス

Q8 いちばんのリフレッシュ方法は？

Answer ピアノを弾くこと

Q9 いちばん消したい過去は？

Answer やっぱ逮捕と勾留でしょう

Q10 いちばんの野望は？

Answer 早く、痛みなく死にたい

要だと述べられています。監査法人による監査が信頼できない以上、個人投資家が自らの身を守るにはそれしか手段はありません。ところが、現実問題として分析にはかなりの費用がかかるため、なかなか難しい。そこで私は、企業の会計内容を簡単にチェックできるシステムを構築できないかと考え「フロードシューター」という会計分析ソフトを開発しました。これを使えば、手作業だと1社調べるのに1ヵ月かけていた分析が、1社で20秒、100社でも20秒でできるので。試しに、上場企業の業績をかたっぱしから分析すると、怪しい企業が5%か

ら10%の確率で出てきます。企業や金融庁がこのシステムを導入すれば、粉飾決算などあつと言っ間になくなるのですが、今のところ、取り入れるところはありません。——不透明な会計と言えば、現在進行形の日産・カルロス・ゴーン元会長の問題にも、多くのペー

ジが割かれています。特捜検察による立件ですから、動向はずっと注視しています。一般に「ゴーン事件」などと騒がれていますが、会計処理の観点から言えば、あれは事件でもなんでもない。中東日産からゴーン氏が支配する銀行口座に500万ドルが流れたことが、さも悪事であるかのよう

に言われていますが、会計上は単なる「借入」と「貸付」に過ぎません。借りた側のゴーン氏が踏み倒したわけでも、「踏み

倒す」と宣言しているわけでもない。みなさんが住宅ローンを借りて、銀行から3000万円が振り込まれたのと同じことです。「損害」などどこにもないのに、なぜ特別背任と捉えられ、起訴されたのか、理解しかねます。——ゴーン氏は無罪になると考えていますか。それは、まだわかりません。現行の刑事訴訟制度の下では、裁判官が無実の人に無罪判決を書くのは困難で、それはとても勇気のいることだからです。裁判では検察が集めた日産関係者の膨大な供述調書が証拠として提出されます。そこには、ゴーン氏の「悪行」がこれでもかと書かれている



『会計と犯罪
郵便不正から
日産ゴーン事件まで』

岩波書店 / 1800円

でしよう。無罪判決が出るかどうかは、裁判官を勇気づける国民世論次第だと考えています。かつて、厚生労働省の村木厚子元事務次官のケースで無罪が出たのは、特捜部の強引なやり方に対して、多くの国民が怒りを表明したからに他ならない。だからこそ、今回のケースも状況を冷静に見定めてほしいのです。

私がそうだったように、いつ誰が経済事件の当事者になってもおかしくはない。その時、司法が正しい判断をできるように、計と司法に対して、もっと多くの人に関心を持つてほしいと願っています。

(取材・文 / 平原悟)